

背景

新型コロナウイルスの影響から世界中でデジタルを活用した「新しい日常」と言われるリモートワーク等の新生活様式が浸透しています。また、令和4年12月にデジタル田園都市国家構想総合戦略が閣議決定されるなど、国全体としてデジタル活用により、国内経済が成長していくことを目指しています。

本市においても少子高齢化、若者世代の市外流出等が課題であり、デジタルを活用した生活の利便性向上や魅力的なまちづくりの推進が必要となっています。

目的

本戦略は、企業、教育機関及び行政をはじめとする多くの関係者との協働により、産業・交通・観光・防災・社会福祉・教育等本市が抱える課題の解決と、歴史・自然・祭り・スポーツ・文化・飲食等の本市が保有する資源・資産の価値の向上を、デジタル実装を通じて実現し、地方創生を図りながら持続可能な経済社会を目指します。



本市が抱える各種課題の解決



本市が保有する資源・資産の価値向上



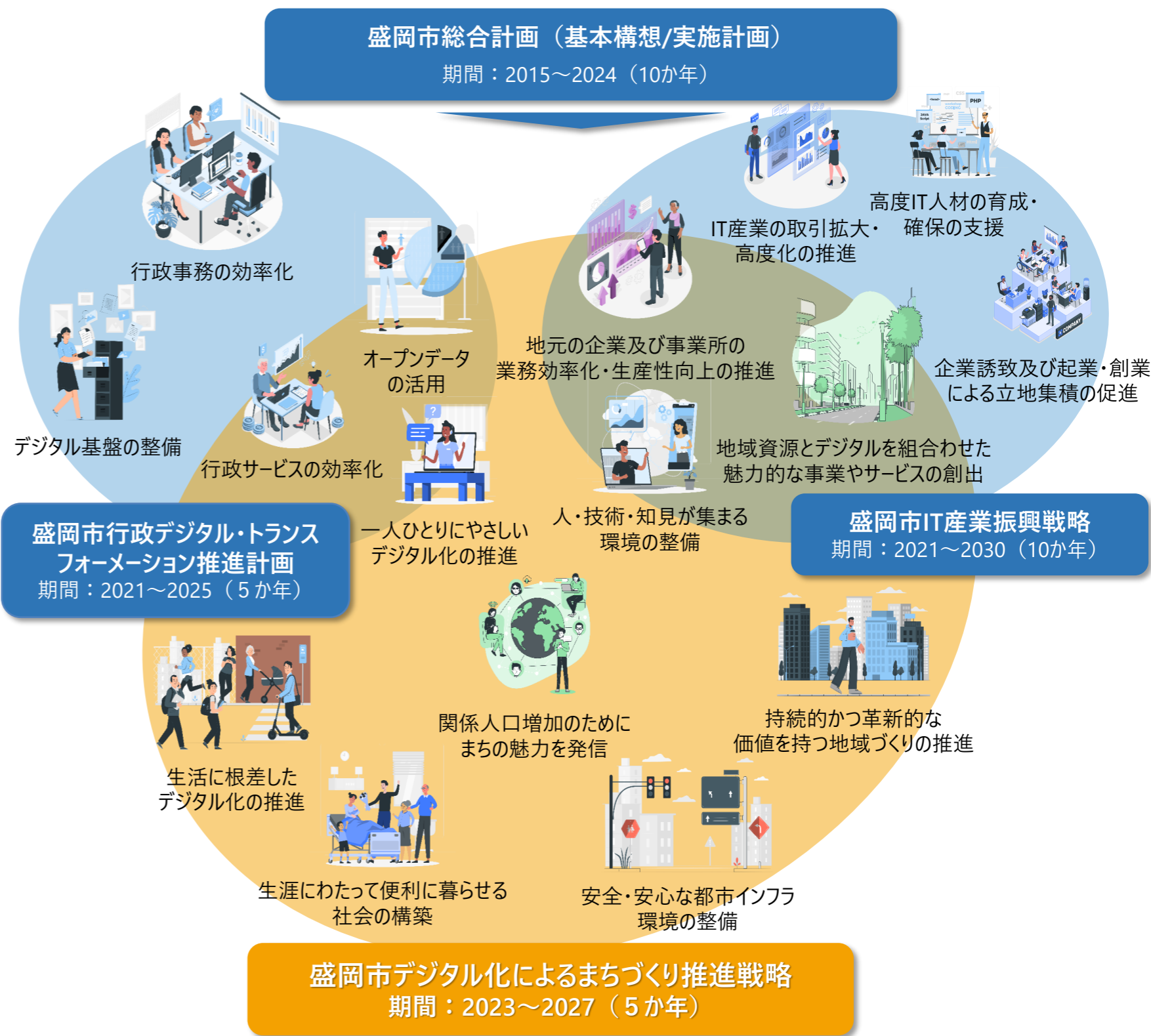
期間

2023年度（2023年4月）から2027年度（2028年3月）までの5か年を本戦略の実施期間とします。

戦略期間と位置づけ

本戦略は、デジタル化の推進により「盛岡市総合計画」に掲げる将来像「まち・ひと・未来が輝き世界につながるまち盛岡」と4つの基本目標の達成を目指すため、地域・市民のデジタル化の推進における方針を示すものです。

行政内のデジタル化の推進を目的とした「盛岡市行政デジタル・トランスフォーメーション推進計画」及びIT産業振興を重点的に推進するための指針とすることを目的とした「盛岡市IT産業振興戦略」と緊密な連携をとり、本市全体としてデジタル化を効果的かつ効率的に推進していきます。



全体像

本戦略の推進を通して本市が目指すべき将来像を定め、その達成のために戦略期間における戦略目標を設定します。この戦略目標の達成に向けては、多くの関係者の協働が必要であり、一体的に進むために活動の方向性を定めています。なお、活動の方向性は現状の本市の長所や課題を基に定めています。

本戦略の意義、及び戦略の推進により実現したい未来の姿・ゴール像を示すもの

目指すべき将来像

目指すべき将来像を実現するために、戦略期間において目指す具体的な状態を示すもの

戦略目標

戦略目標の達成に向けて、市民や多くの関係者が一体的に行動できるように推進の方向性を示すもの

活動の方向性
戦略コンセプト

戦略の推進にあたり、実施すべき施策や事業の根拠となるもの

現状※
長所 / 課題

※詳細については戦略本編に記載

活動の方向性と戦略コンセプト

3つの視点に基づき9つの活動の方向性を定めました。また、多くの関係者が一体となって本戦略を推進できるよう、戦略コンセプトを定めました。

視点	活動の方向性
市民の生活	① 一人ひとりにやさしいデジタル化の推進 ② 生活に根差したデジタル化の推進 ③ 生涯にわたって便利に暮らせる社会の構築
地域の経済	④ 地域資源とデジタルを組合わせた魅力的な事業やサービスの創出 ⑤ 地元の企業及び事業所の業務効率化・生産性向上の推進 ⑥ 人・技術・知見が集まる環境の整備
まちづくり・文化	⑦ 持続的かつ革新的な価値を持つ地域づくりの推進 ⑧ 安全・安心な都市インフラ環境の整備 ⑨ 関係人口増加のためにまちの魅力を発信

戦略コンセプト

デジタルの力で盛岡の良さを紡いで伸ばす
～誇れる地元をみんなで積み重ねて育てていく～

目指すべき将来像

地域資源を活かした「過去と未来の“盛岡らしさ”を支えるデジタル化の推進」を将来像とします。デジタルの活用により、輝く未来の創造だけではなく、地域として培ってきた文化や歴史、自然といった長所を活かした魅力ある“盛岡らしさ”が支えられていることを表しています。

過去と未来の“盛岡らしさ”を支えるデジタル化の推進

市民の生活



市民の誰もがデジタルの恩恵を受けられること

地域の経済



地域のあらゆる産業がデジタル化推進を起点に活性化していること

まちづくり・文化



地域の魅力が掘り起こされ、安全・安心な住み続けたいまちが実現されていること

戦略目標

目指すべき将来像実現のために、3つの視点から戦略目標と令和9年度のKPIをそれぞれ設定しています。

視点1 市民の生活

市民の誰もがデジタルの恩恵を受けられること

- 市民一人ひとりにデジタル化による恩恵が広くいきわたり、よりよい“盛岡らしい”暮らしが実現されていることを目指す



KPI：情報通信機器等を利用できない人ができる人との間に格差を感じる割合（59.4%→23.0%）

視点2 地域の経済

地域のあらゆる産業がデジタル化推進を起点に活性化していること

- 本市が抱える資源・資産が活用され、地域で育んできた“盛岡らしさ”を残したまま、新たな技術・知見を活用し、デジタルの力で地域経済の成長・発展が実現されていることを目指す



KPI：デジタル化の推進により業績が令和4年度と比較して向上した企業の割合（-%→60.0%）

視点3 まちづくり・文化

地域の魅力が掘り起こされ、安全・安心な住み続けたいまちが実現されていること

- デジタル化を通じて本市が抱える課題を解決し、今ある文化を守りながら、“盛岡らしい”新たな価値を創造して本市の魅力あふれる持続可能な社会が実現されていることを目指す



KPI：デジタル化により快適で生活しやすい環境になったと感じる人の割合（-%→32.5%）

活動の方向性と取組方針（1/2）

9つの活動の方向性に対して、それぞれ取組方針と主な取組、及び活動目標を設定しています。取組方針の数は合計21、活動目標の数は合計16となっています。

視点1 活動の方向性① 一人ひとりにやさしいデジタル化の推進

取組方針（1）デジタル格差の解消

- ✓ モバイル端末等活用講習の実施
- ✓ 地域におけるデジタル化サポート組織等の結成
- ✓ 市が開設したサイトのウェブアクセシビリティ対応の徹底
- ✓ 視覚聴覚障がい者、外国人に対する通訳アプリ端末の行政窓口設置 等

取組方針（2）公共サービスのデジタル化推進

- ✓ 行政手続のオンライン化
- ✓ 24時間対応の問い合わせ対応サービスの導入
- ✓ オープンデータの推進 等

取組方針（3）ネットワーク環境の向上

- ✓ 公共空間、公共施設への通信環境の整備 等



【活動目標】

1. 誰もがデジタル化の恩恵を受けられる

視点1 活動の方向性② 生活に根差したデジタル化の推進

取組方針（4）市民の利便性向上のための市民アプリ（MORIOパイ等）の利用拡大

- ✓ 市内でのキャッシュレス決済の普及促進
- ✓ MORIOパイ登録者数及び加盟店数の拡大
- ✓ MORIOパイの地域決済機能と連携した市民サービスの提供 等

取組方針（5）デジタル活用による地域コミュニティ活動の改善

- ✓ 電子回覧版等、自治会・町内会の情報発信媒体のデジタル化推進 等

取組方針（6）防犯・防災情報の発信強化

- ✓ SNS等を活用した防犯情報の発信
- ✓ 災害データを活用した危険地域予測
- ✓ SNS等を活用した除排雪情報の発信 等

取組方針（7）デジタル活用による環境負荷の低減推進

- ✓ 地域脱炭素・循環型社会の構築等による持続可能な地域づくりの支援
- ✓ 地域の豊かな自然資本（再生可能エネルギー、自然環境）をデジタル技術で有効・適正に活用 等



【活動目標】

2. 市民向けアプリ等デジタルサービスが地域で活用されている
3. 市民向けアプリと連携したサービスが5つ提供されている

視点1 活動の方向性③ 生涯にわたって便利に暮らせる社会の構築

取組方針（8）健康データを活用した医療・介護の推進

- ✓ 電子連絡帳の活用促進
- ✓ デジタルヘルス分野（医療、介護、福祉）関連企業・事業所に対する支援拡充 等

取組方針（9）デジタル活用による婚姻数・出生数の増加

- ✓ 結婚マッチングサポート
- ✓ 母子手帳アプリ『母子モ』の拡充
- ✓ 24時間対応の問い合わせ対応サービスの導入（再掲） 等

取組方針（10）デジタル活用による子育て・教育環境の改善

- ✓ 保育所（園）、幼稚園のデジタル活用推進
- ✓ 市立学校におけるデジタル環境整備の推進
- ✓ 育児のためのテレワーク環境やワーク・ライフ・バランス向上への整備支援 等



【活動目標】

4. デジタル活用による効果的・効率的な医療・福祉を提供できる環境を整備する
5. デジタル活用による安心した子育て・教育が望める環境を整備する
6. 市立小・中学校における1人1台端末を授業で週3回以上利用している割合が小学校にて85.1%、中学校にて81.2%以上を達成する

視点2 活動の方向性④ 地域資源とデジタルを組合わせた魅力的な事業やサービスの創出

取組方針（11）デジタル活用による「盛岡ブランド」の展開

- ✓ 地場産業のデジタル化推進支援
- ✓ 地場産業とスタートアップとのマッチングプラットフォームの整備
- ✓ 後継者人材の獲得・育成支援 等

取組方針（12）地域内循環経済の促進を促すための市民アプリ（MORIOパイ等）の利用拡大

- ✓ 市内でのキャッシュレス決済の普及促進
- ✓ MORIOパイ登録者数及び加盟店数の拡大
- ✓ MORIOパイの地域決済機能と連携した市民サービスの提供 等



【活動目標】

7. 地域にある特産品等をデジタル活用により全国に広める
8. ふるさと納税制度による寄附額が年間5億円を達成する

活動の方向性と取組方針（2/2）

視点2 活動の方向性⑤ 地元の企業及び事業所の業務効率化・生産性向上の推進

取組方針（13）地元の企業及び事業所のビジネス拡大・再成長の支援

- ✓ デジタル推進に関連する中小企業及び事業所支援制度の拡充
- ✓ デジタル活用による販路拡大支援 等

取組方針（14）デジタル人材の獲得・育成の推進

- ✓ デジタルスキル取得支援
- ✓ 高度IT人材候補として地元理工系大学からの人材獲得支援
- ✓ 首都圏デジタル人材と地場企業及び事業所とのマッチングプラットフォームの整備 等



【活動目標】

- 9. デジタル活用により、企業・事業所の付加価値及び労働生産性の向上を実現する

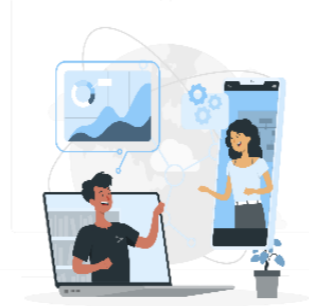
視点2 活動の方向性⑥ 人・技術・知見が集まる環境の整備

取組方針（15）デジタル活用による地域の雇用環境の改善

- ✓ 市外（東京圏）企業・事業所のサテライトオフィス招致拡大 等

取組方針（16）多様な人材確保に向けた支援

- ✓ デジタル人材が集まる拠点（シェアオフィス等）の整備
- ✓ 本市の資産（町家等）を活かしたワーケーション推進 等



【活動目標】

- 10. 人材・技術が集積するプラットフォームが形成され、新たな仕事や技術が生み出されている
- 11. AI・IoTプラットフォームに200社以上の企業が参画している

視点3 活動の方向性⑦ 持続的かつ革新的な価値を持つ地域づくりの推進

取組方針（17）デジタル活用による地域資源（歴史・文化・スポーツ等）の価値向上

- ✓ スポーツ・アート等の文化資産に対するデジタル化の推進 等

取組方針（18）デジタル活用による観光客への情報発信・観光対応の推進

- ✓ デジタル観光マップによる市内情報の一元化、外国人対応 等



【活動目標】

- 12. 本市のもつ良質な資源をデジタル技術を活用し、地域発展につなげる
- 13. デジタル観光マップの閲覧数が50,000回を超える

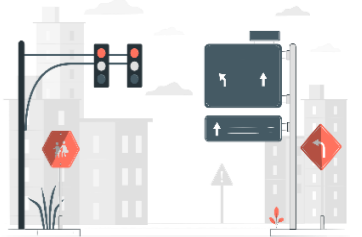
視点3 活動の方向性⑧ 安全・安心な都市インフラ環境の整備

取組方針（19）交通環境のデジタル化推進

- ✓ 公共交通機関におけるICカード搭載率の向上
- ✓ デジタル×モビリティによる利便性向上 等

取組方針（20）デジタル活用による都市インフラの高度化推進

- ✓ ICTやAI活用による都市インフラの維持管理
- ✓ 都市空間情報のデジタル基盤構築 等



【活動目標】

- 14. デジタル活用により効率的で安全な都市インフラを整備する
- 15. デジタルデバイス等から取得したデータを活用・解析した渋滞対策等の交通施策を10件提案する

視点3 活動の方向性⑨ 関係人口増加のためにまちの魅力を発信

取組方針（21）デジタルの活用による本市の魅力発信

- ✓ デジタルコミュニティ活動による魅力発信
- ✓ デジタルマーケティングを活用した魅力発信 等

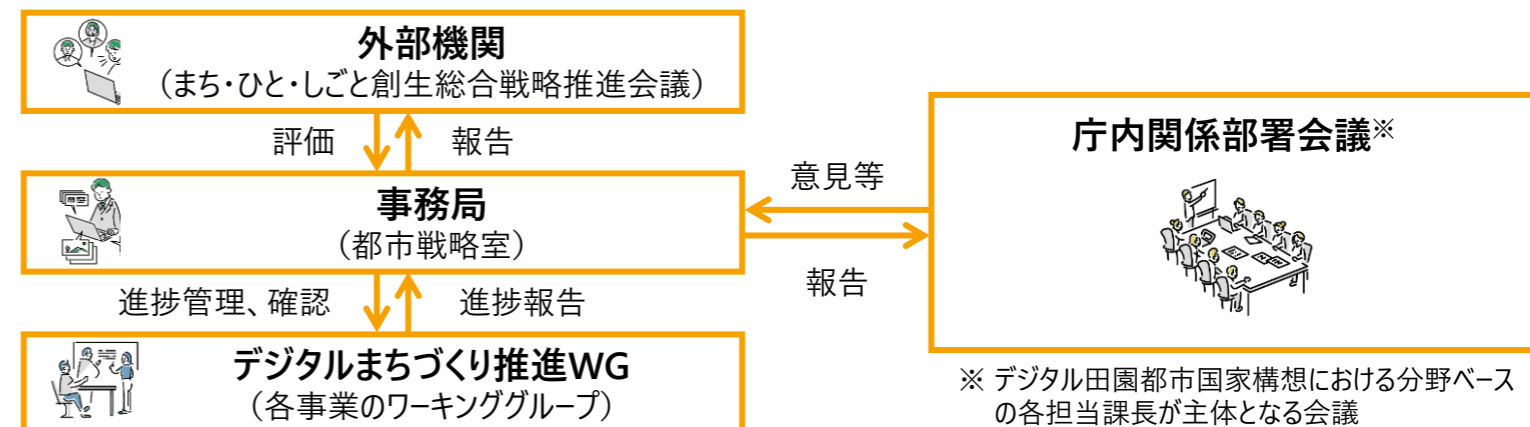


【活動目標】

- 16. デジタル活用により本市の魅力を積極的・効果的に打ち出す

推進体制

戦略推進は、事務局を中心とし、実施事業の関係部署の担当職員で構成するWG（ワーキンググループ）や外部機関であるまち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議など庁内外と密に連携します。



※ デジタル田園都市国家構想における分野ベースの各担当課長が主体となる会議